

都道府県名:新潟県 団体名:さけの森林づくり推進協議会

地域

新潟県と山形県にまたがる朝日連峰を源に発する「三面川」、また私たちが愛する母なる川「三面川」は、新潟県北部の村上市朝日地区から村上市街地にかけて流れ、鮭の人工ふ化で名高く、毎年たくさんの鮭が遡上することで有名な川です。また、三面川源流部はブナの原生林が広がり、山深い地域の特色を生かして林業が盛んな地域です。

経緯

さけの森林づくり推進協議会は「快適な環境を形成する源泉は、豊かな森にある」という基本認識の基に、三面川流域を「さけの森林^{もり}」として整備・保全を促進し、後世に自然の営みの大切さを引き継ぐことを目的として、平成11年11月11日に設立されました。

緑の少年団、森林管理署、新潟県、地元水産関係者などの地域内の多様な団体と連携を図り、水源林の整備・管理に尽力しています。

功績内容

○三面川源流部に原生しているブナ(約282haの一部)の植栽や下草刈り払いやブナの幼木植樹といった森林整備活動を実施しています。

○長期的な視点での取組として、森林管理署と連携を図り、地元の緑の少年団を対象とした森林環境保全教室などの教育活動にも積極的に取り組んできました。

○県や市、漁業協同組合などの多様な関係機関、関係団体と連携を図り、鮭の稚魚育成・放流などに取り組んできました。

○新潟県森林研究所の協力を得て、本来の森の姿を大切にしながら、「さけの川、三面川」を未来の子供たちに引き継ぐために森林づくり活動を進めています。



下草刈り払い作業



ブナの幼木植樹



下越森林管理署による森林教室



集合写真